

第5回

駅周辺まちづくりの事例視察を通じて、事業完了後における駅前広場、ロータリー等の駅周辺の交通処理方式や鉄道が高架化・地下化した際のまちの将来像をイメージしました。

開催日時 令和6年10月26日(土)午前8時30分～13時00分

会場 西武池袋線(石神井公園駅～練馬高野台駅)
小田急小田原線(世田谷代田駅～下北沢駅～東北沢駅)
京王井の頭線(下北沢駅)

参加人数 11人

実施内容 ➤ 鉄道連続立体交差事業及び駅周辺まちづくりの事例視察
・西武池袋線(石神井公園駅～練馬高野台駅)
・小田急小田原線(世田谷代田駅～下北沢駅～東北沢駅)
・京王井の頭線(下北沢駅)

主な意見

- ・高架化は駅の位置が視覚的に分かり、駅を降りたときにその駅の景色が見えるなど、視覚的なメリットがある。
- ・高架化の良くなかったこととして、高架下で使われていない部分が多いこと、騒音があること等が挙げられる。
- ・下北沢駅の事例では、もともと「下北沢」というまちのブランドが高いため、人が集まりやすく、住宅街とは少し違った雰囲気がある。

**第6回**

今年度開催した第1回～第5回(仮称)下井草まちづくりラボの内容を振り返り、グループワークを通じて、これからのまちづくりで取り組むテーマなどについて考えました。

開催日時 令和6年11月30日(土)午前9時00分～11時45分

会場 桃井第五小学校体育館

参加人数 25人

実施内容 ➤ 今年度開催した(仮称)下井草まちづくりラボの内容の振り返り
➤ 下井草駅周辺まちづくりとして、今後取り組みたいこと、実現したいこと等の関心事の検討(個人ワーク)
➤ 個々で考えた関心事の実現に向けて必要となるデータや調査項目、手法等についての意見交換(グループワーク)

主な意見

- ・今年度の活動成果を形にするにあたり、行政側からの一方的なインプットではなく、参加者自ら考えて話をし、まとめる機会が設けられたことは良かった。
- ・鉄道連続立体交差化をしないとできないことだけでなく、「今、できること」のアイデアが多く出たと思う。ぜひ、「今、できること」を実現するようになってほしい。

問い合わせ 杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体係
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
電話03-3312-2111(内線3379) FAX 03-3312-2907

下井草駅周辺まちづくりニュース第10号**令和6年度下井草駅周辺地区****まちづくり****オープンハウス****を開催します!**

申込不要

入退場自由

当日アンケートに
回答いただいた方には
景品をお渡しします
※なくなり次第終了

今年度は、地域の方々と下井草駅周辺のまちの将来像を考えるため、
(仮称)下井草まちづくりラボを6回開催しました。
下井草駅周辺まちづくりの取組を地域の方々へ幅広く周知するため
パネル展示形式のオープンハウスを開催します。

内容 令和6年度(仮称)下井草まちづくりラボ内容説明(パネル展示)

日時 令和7年2月12日(水)
午前9時～正午

会場 子ども・子育てプラザ下井草
(下井草3-13-9)

案内図

※お車での来場はご遠慮ください。

数台分駐輪スペースを用意しています。自転車でお越しの際は、近くの職員へお声がけください。

2月12日(水)については、会場の都合上、会場内は靴下での移動をお願いします。
両日とも同じ内容です。ご都合の良い日付・時間にお越しください。

日時 令和7年2月15日(土)
午後1時～4時

会場 下井草駅南口駅前広場
(下井草2-44-10)

案内図

(仮称)下井草まちづくりラボを開催しました！

今年度、幅広い世代の方々とまちあるきや勉強会、意見交換などを行い、下井草駅周辺のまちの将来像について研究していく場として(仮称)下井草まちづくりラボを、日本大学理工学部土木工学科教授 関 文夫先生と研究室の大学生のご協力をいただきながら、全6回開催しました。



二次元コード

その他の意見や
当日資料は、
区公式ホームページ
(二次元コード)から
ご覧いただけます。

第1回

区からの説明やグループワークを通じて、下井草駅周辺のまちの魅力や課題を共有しました。

開催日時 令和6年7月20日(土)午前9時00分～11時15分

会場 桃井第五小学校体育館

参加人数 40人

実施内容

- 下井草駅周辺まちづくりのこれまでの取組内容の共有
- (仮称)下井草まちづくりラボの趣旨及び取組内容の共有
- まちあるきマップ作成に向けたグループワーク

主な意見

- ・自分たちのまちのことを知って、将来どうしていきたいかを考える機会があることは、大変良い取組だと思う。
- ・さらなる意見聴取やまちづくりの研究というスタンスは住民参加を目指すうえで良い方向だと思う。
- ・西武新宿線の連続立体交差化を見据えて、大人だけでなく、小・中学生も意見が言える場があるというのは、とても良いことだと思う。



第2回

下井草駅周辺のまちの将来像を考えるにあたり、下井草駅周辺のまちあるきを通じて、まちの魅力や課題等を再確認しました。

開催日時 令和6年7月27日(土)午前8時30分～11時30分

会場 下井草駅周辺

参加人数 34人

実施内容

- 下井草駅周辺まちあるき
- 鉄道連続立体交差事業及びまちづくり事例に関するパネル展示
- 車イス体験及びスタンプラリー

主な意見

- ・旧早稻田通りで、ベビーカーが通りにくいため改善して欲しい。
- ・車イス体験を通して、電柱や歩道と車道の段差により、通行が困難なことが分かった。
- ・知らなかった場所やスポット、課題点を知ることができ、今回のまちあるきは、まさに「下井草再発見」だった。



第3回

まちあるきの振り返りや鉄道連続立体交差化に関するミニ講義を通じて、地域の魅力や課題を全体で共有しました。また、小・中学生による成果発表を通じて、将来を担う世代の子どもたちのまちへの想いやアイデア等を共有しました。

開催日時 令和6年8月24日(土)午前9時00分～11時30分

会場 桃井第五小学校体育館

参加人数 34人(小学生3人含む)

実施内容

- まちあるき結果の共有
- 模型を用いた鉄道連続立体交差化についてのミニ講義
(日本大学理工学部土木工学科 関 文夫教授)
- 小・中学生が作成したまちの将来像模型の発表

主な意見

- ・まちあるきの振り返りでは、まちの魅力と課題が整理され、良く理解できた。
- ・小・中学生の発表を聞き、小・中学生も下井草駅周辺のまちに課題を感じていることが興味深かった。
- ・まちづくりは期間が長いため、幅広い年齢層の意見が必要になるのだと改めて実感した。



第4回

学識経験者から講義を通じて、鉄道連続立体交差事業についての基本から専門的な知識の理解を深めました。

開催日時 令和6年9月21日(土)午前9時00分～11時45分

会場 八成区民集会所

参加人数 30人

実施内容

- 鉄道連続立体交差事業に関する講義 (日本大学理工学部土木工学科 中村 英夫教授)
・事業の背景・事業の流れ・補助制度・事業効果・駅周辺のまちづくり事例等について
- 下井草駅周辺まちづくりに関する講義 (日本大学理工学部土木工学科 関 文夫教授)
・将来の駅周辺の空間利用等について(下井草駅周辺模型を活用)

主な意見

- ・事業とはどのようなものか、制度面の理解が深まった。
- ・事業の流れや工法、費用負担など知りたかった内容で良かった。
- ・模型によって空間イメージを共有することで、新しい意見が出てとても良かった。

